

## (6) 受診率、実施率、継続率の向上

- ・健診と保健指導の間をあけない実施
- ・多様な取組みの重要性

### 特別加算事業における取組み例

#### ○保健指導の迅速な開始

- ・基本健診終了後、対象者の抽出、参加勧奨を短期間で行い、早期に各コースを開始するようにした。また、参加者が決まったら、連絡は郵送ではなく電話または訪問によることとし、人間関係の構築に配慮した。(倉敷市)

#### ○資料、ツールの工夫

- ・保健指導の個別通知にて“おめでとうキャンペーン”を実施した。(日南市)
- ・ヘルスアップ通信を作成し、支援レターと一緒に送付した。(御坊市)
- ・自己実践コースと個別相談コースにおいて、保健指導期間中に起こりうるつまづきを想定したアドバイスを掲載したヘルスアップブックを作成して配布した。ヘルスアップブックには、自分をほめたり、言い訳を書くコーナーも用意し、セルフマネジメントしやすいように工夫した。また、通信コースの配布資料には、各種情報提供を載せるコーナーを設けた。(宜野湾市)
- ・改善に成功した人の体験談を聴く機会を設けたり、グループワークを取り入れ仲間づくりを進めたり、行動や意識の変化を“見える化”するなどの工夫をした。(倉敷市)

#### ○具体的な目標設定

- ・“腹囲を〇〇cm 減らす”ではなく、“ファスナーを自分で上げられるようにする”など、具体的かつ親しみを持てる目標を設定した。(御坊市)
- ・対象者自身により具体的な目標設定(例えば、腹囲3cm 減少とか体重3kg 減少ではなく、達成したら〇〇するなど生活や趣味にまで落とし込んだ目標設定)ができるように誘導した。(倉敷市)

#### ○きめ細かなフォロー

- ・夜間コースを用意したり、家族ぐるみの参加を促したりした。(軽米町、太田市、倉敷市)
- ・教室では、名札を用意し、名前呼びかける関係を作っていた。(軽米町)
- ・実践記録票に支援スケジュールを明記しておくとともに、教室終了後にすぐ次回の予約をとるようにし、教室開催日の直前に連絡をとった。また、教室開催日の前のタイミングに栄養指導やグループ面談をあててはげましを行った。(太田市)
- ・教室終了後に電話でその後の取り組み状況の確認や次回教室の案内を行った。(倉敷市)
- ・欠席者には、在宅時をねらって、電話でフォローした。(軽米町、日南市)
- ・通信コースの場合、行動記録が送られてきたら1日以内に返事を出した。また、通信以外に来所や電話でも相談を受けられるようにした。(宜野湾市)

### ○継続に向けたフォロー

- ・保健指導終了後に白紙の実践記録票を1枚配布しセルフモニタリングを促した。(太田市)
- ・事業終了後も電話等で終了者のフォローを行っている。(御坊市)
- ・終了者の自主グループ化に向けて、“どうしたら委員会”を2カ月毎に開催している。(倉敷市、ほかに日南市“フォローアップ教室”、君津市“君津ヘルスアップOB会”)

## (7) アウトソーシングの展開方法とその課題

### ・アウトソーシングの利点、留意点

- <メリット>
  - ・内部資源（人材、施設・設備など）では対応困難な取組みの実現
  - ・接客サービスの観点から利用者志向の取組みを実施
  - ・効率を意識した事業運営を実施
- <デメリット>
  - ・事業の趣旨、発注者の考えの未理解
  - ・調整に係る時間の増大
  - ・行き過ぎた価格競争によるサービスの質の低下

### 特別加算事業における取組み例

- ・対人コミュニケーション（参加者のひきつけ方）や見やすい教材などに学ぶことがあった。(軽米町、太田市、君津市)
- ・地域特性が指導に反映されにくい、評価測定が甘い、緊密な連携がとりにくい等の問題があった。(君津市)
- ・行政側の管理栄養士、保健師等と外部委託先との連絡調整をいかにスムーズに行うかが課題。(御坊市)
- ・実施する教室ごとに事業者をモニタリングする担当保健師を置き、質の維持を図った。(太田市)
- ・事業開始前に行政として目指す方向、考え方などをしっかりと伝えた。(軽米町)
- ・事業進捗状況について情報共有を図るよう努めた。(日南市)

## 2. 事例紹介 <事例編>

- ・ 1. で提示した課題に対応したインデックスをつけて現地調査結果を紹介。事例は、読み手の便宜を考え、人口規模の小さい順に並べる。

### ○ 事例インデックス

- (1) 岩手県軽米町
- (2) 宮崎県日南市
- (3) 和歌山県御坊市外三カ町
- (4) 千葉県君津市
- (5) 沖縄県宜野湾市
- (6) 群馬県太田市
- (7) 兵庫県尼崎市
- (8) 岡山県倉敷市
- (9) 福岡県北九州市

	被保険者数(人)	保健指導の実施形態	ポイント数	健診結果レポート分析の活用	実施体制の構築	人材の確保・育成	事業の展開方法	受診率・実施率・継続率の向上	アウトリーチングの展開方法と課題	掲載ページ
(1)岩手県軽米町	11,192	一部 民間委託	180	-	○	-	-	○	○	⇒ 12
(2)宮崎県日南市	43,478	一部関係 機関委託	500	-	○	○	○	○	○	⇒ 21
(3)和歌山県御坊市外三カ町	49,575	一部 民間委託	440	-	○	-	○	○	○	⇒ ……
(4)千葉県君津市	90,654	一部 民間委託	310	○	-	-	-	○	○	⇒ ……
(5)沖縄県宜野湾市	91,486	直営	500~800	-	○	-	○	○	-	⇒ ……
(6)群馬県太田市	218,815	一部 民間委託	280	-	○	○	○	○	○	⇒ ……
(7)兵庫県尼崎市	461,120	一部 民間委託	260	○	○	-	○	-	○	⇒ ……
(8)岡山県倉敷市	477,922	一部 民間委託	90~1040	-	○	○	○	○	-	⇒ ……
(9)福岡県北九州市	990,452	一部医療 機関委託	180	○	○	○	-	-	-	⇒ ……

### 付. 参考資料

#### (1) 平成 19 年度国保ヘルスアップ事業

- ・ 第 2 回 WG にて配布したアンケート結果をもとに、19 年度国保ヘルスアップ事業の全体像を整理。

- 1) 事業実施保険者の概要
- 2) 実施事業の概要
  - ・ 実施体制
  - ・ 実施規模
  - ・ プログラムの内容
  - ・ プログラムの成果

#### (2) 特別加算実施 75 保険者一覧

#### <事例ごとの内容構成>

- 1 選定のポイント
- 2 保険者の概要
- 3 平成 20 年度特定健診・特定保健指導について

- (1) 実施計画の概要
- (2) 実施体制
- (3) 事業の特徴
- (4) 課題と今後の展望

⇒ ここで取り上げる特徴が、平成 19 年度ヘルスアップ事業における取組みを発展させたものであることを示す。

- 4 平成 19 年度ヘルスアップ事業について
  - (1) 事業概要
  - (2) 実施体制
  - (3) 特別加算で実施したこと
  - (4) 受入れ体制構築のポイント
  - (5) 受診率・実施率、継続率向上のポイント
  - (6) 事業の成果
  - (7) 平成 20 年度特定健診・特定保健指導に向けて